

イギリス夏期英語研修報告書

経営学研究科 経営学専攻

1 年

はじめに

私は 2019 年 8 月 17 日～9 月 8 日までイギリス夏季英語研修に参加いたしました。理由は、自分が言いたいことを英語で伝えることが難しいこと多く、英語しか使えない状況に自分を置くことで、リスニングだけでなく、スピーキングも向上させたいと思ったためです。

研修先での学習

研修先(SOAS, School of Oriental and African Studies, University of London、ロンドン大学東洋アフリカ研究学院)はその名の通り、アジア・アフリカ地域の研究を行っている大学で、通っている学生は当該地域出身の方がほとんどです。そういった面では気後れする必要はないと思います。

学習内容について、SOAS では複数のコースを提供しており、自分の希望するテーマに関するコースを選択できます。私は Global Business Strategy を学びました。授業で、先生は比較的ゆっくり講義していただけるほか、専門用語についても事前に解説していただけます。一方、授業中は積極的な発言が求められ、外国の学生は積極的に発言します。また、授業では積極的な発言が評価され、その点は日本の授業と大きく異なる点だと思います。

課外活動では英国企業の見学に参加しました。授業だけでなく実際のビジネス現場を見学することで理解が深まったように思います。一方、先生のようにゆっくり解説していただけるわけではないので、理解するためには相当の集中力が必要でした。

現地の様子や生活

英国は夏季とはいえ肌寒い日が多いので、上着があるといいと思います。Brexit の真っ只中であり、時々デモ等があったものの、治安は比較的落ち着いている印象でした。一方、浮浪者が比較的多く、積極的に声をかけてくるため注意が必要です。

食生活については、日本料理をはじめ各国の料理を提供する店が多数あり、特段困ることはないと思います。ただし、物価は比較的高いため自炊で賄うことも必要だと思います。

自由時間の過ごし方

平日は授業や予習復習、グループワークの準備等があり、まとまった時間が取れないと思いますが、週末は時間が取れると思います。遠方を訪ねるのは難しいと思いま

すが、観光で英国文化を学べるほか、英語を積極的に使うことで「使える」英語の能力が向上できると思います。

まとめ

3週間の短期海外留学で英語を使いこなせるようにはなりません。ただ、現地で英語を使うことで自分の英語が通用することが確認でき自信につながるほか、今後の自信の英語学習のモチベーション向上につながると思います。また、外国の生徒の積極的な授業態度が、日本の大学での授業態度にもプラスになると思います。

